

e-ビジネス総論 -進化するネットビジネスを読み解こう！-

単位数	ナンバリングコード	
2	DBA401	
	教員名	福沢 康弘
	専門	中小企業における経営の諸問題に関する研究と、地域イノベーション・システムに関する研究の2つを行っています。
	出身校等	京都大学文学部卒業、北海学園大学大学院経済学研究科博士課程修了
	現職	経営情報学部 先端経営学科 教授
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業		
授業範囲	試験範囲	
教科書の内容すべて	授業範囲すべて	
	【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要		
<p>IT（情報通信技術）の急激な進化により、社会活動・産業活動・企業活動におけるニュービジネスの台頭には目を見張るものがあります。インターネットの普及で個人が情報発信してグローバルな世界へ入ることも日常のことになりました。このように「e-ビジネス」という言葉が誕生してから20年以上が経過し、「e-ビジネス」は今やネットビジネスの中核をなしています。</p> <p>この講義ではe-ビジネスの原点とも言えるインターネットを活用したビジネスに焦点を当てて学びますが、e-ビジネスは今や「ネットビジネス」へと進化し、「IoT（Internet of Things：モノのインターネット）」や「デジタルビジネス」なども包含した概念となっています。教科書ではその点もカバーしています。</p>		
授業における学修の到達目標		
インターネットをはじめとするネットワークやSNS（Social Networking Service）などの普及が、個人の生活や企業内のビジネスモデル（ビジネスのやり方）を変革し、企業間、企業と個人間、個人同士のコミュニケーションを飛躍的に発展させています。e-ビジネスを単にインターネット技術を活用したネットでの電子商取引として捉えるのではなく、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、IoTに代表される「デジタルビジネス/デジタルトランスフォーメーション」にも通じることを理解しましょう。		
講義の方針・計画		
使用する教科書の内容は15回の講義に1章ずつを割り当ててあります。教科書の内容に沿って学修（学び修めることが重要です）を進め、重要と思われるところのノートを自分で作成してください。教科書に出ている資料や、参考文献などはどうしても古いデータになるのでインターネットを活用し最新のデータを調べてください。また分からない言葉などについてもインターネット上の用語辞典などを利用し十分理解をしてください。（学習用プリントも参考にして最新データ等を調べましょう。）		
第1回：e-ビジネスからネットビジネスへ		

講義の方針・計画
第2回：情報と情報化 第3回：サービスの価値化 第4回：情報処理とコンピュータ 第5回：インターネットとウェブ 第6回：新たな経験則とWeb2.0 第7回：経営手法と情報システム 第8回：電子商取引 第9回：ビジネスモデル 第10回：ソーシャルメディア 第11回：インターネットマーケティング 第12回：電子決済とRFID 第13回：情報セキュリティ 第14回：ネット社会の倫理と法 第15回：ネットビジネスイノベーション
準備学習
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 また、特に重要なことは教科書では対比表にしたり四角で囲んだり、あるいは簡条書きにしていますのでそれらを重点的に学習してください。 しっかりと教科書に沿ったノートを作成し復習してください。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
成績評価の方法およびその基準
科目試験：100%
教科書
書名：ネットビジネス進化論（第2版） 著者名：中村忠之 発行所：中央経済社 ISBN：9784502139512
参考書
なし
その他
なし
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2024学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
商業5の1（必修）、商業6の4

関連受講科目
なし
担当教員の実務経験
なし